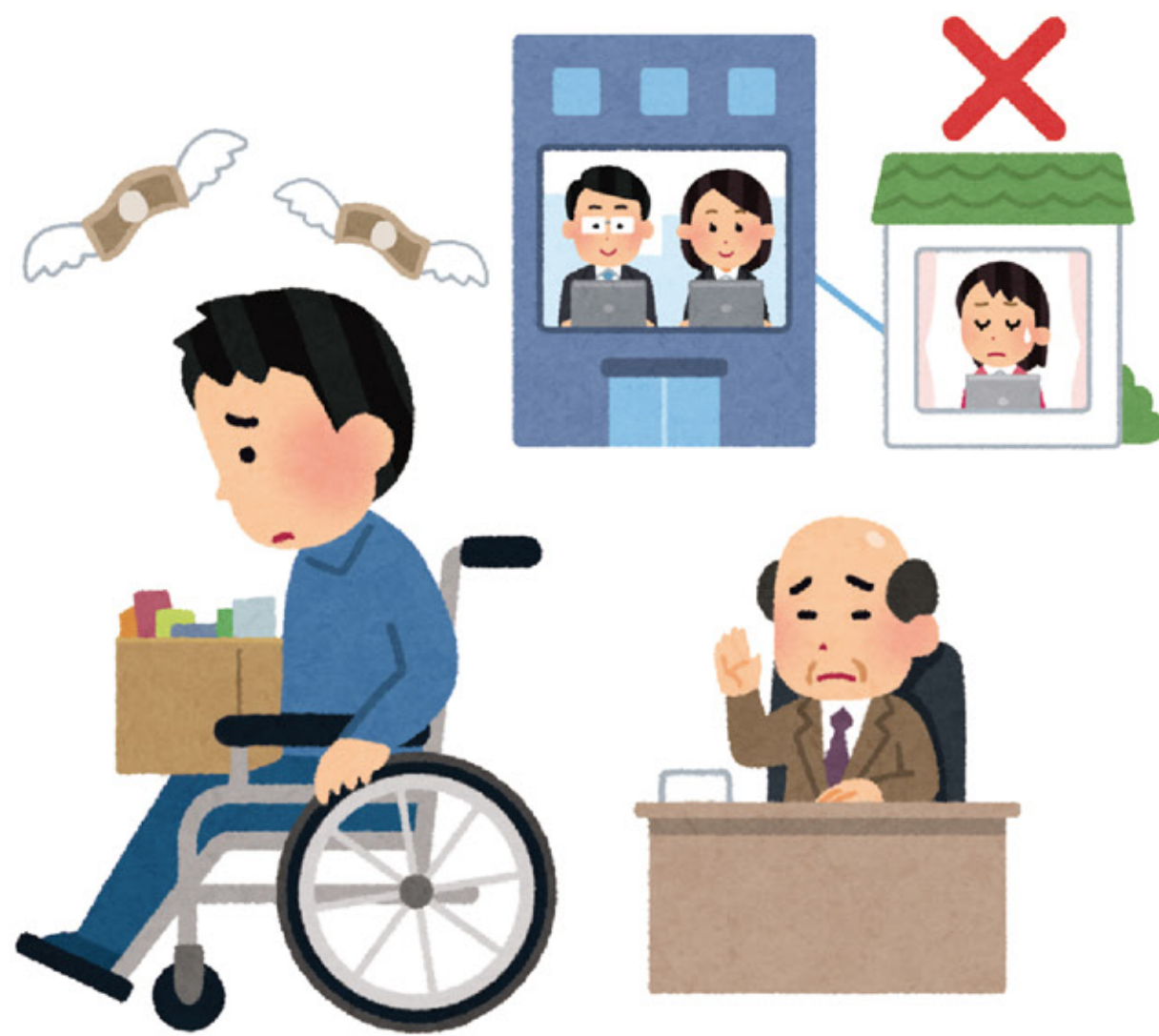


# コロナ禍の発達障害・知的障害者の困り感

知的障がい児・者の一部の方は、新型コロナウイルスについての理解が出来ず、生活の変化に戸惑ってしまいます。

**1** 収入が激減したことや障害者はテレワークができず、真っ先に解雇になる。



**2** 感覚過敏等の理由でマスク着用が困難な場合、外出時に非難を浴びる。またお店に入ることができない。



**5** 電車が大好きな人の場合、感染のリスクを避ける為に電車に乗ることが制限された理由が理解できず不安定の要因に。



**6** 登校のルーティンが無くなり、精神的に不安定に。登校開始後も、日課が崩れてしまい不登校に。



**3** 外出制限による予定の変更等で精神的なストレスから不安定に。



**4** 感染防止のためガイドヘルパーを断られその理由が理解できず、不安定の要因に。



**7** 休校時に家にいることが多くなった障害のある子どもがいる家庭では、家族の間で煮詰まり、親子間で暴力・虐待が増えた。



発達障害・知的障害の方のコロナ禍での困り感について、一部紹介させていただきました。まだまだ、たくさんお困りのことがあると思います。発達障害の方の特徴として、「先の見通しが立たないと不安になる」「決まった日課が崩れると不安が大きくなる」「聴覚や皮膚の過敏さがある」等々、適応し辛いことがあります。又、知的障害の方は理解の点で難しいことがあり、コロナ禍での注意事項などが理解できず、ただ不安だけが大きくなってしまいます。

その点を周りが理解し、環境を配慮することが必要です。

ただ、個人個人苦手なところも様々ですから、一概に例として取り上げていることがすべてではありません。

皆様にご理解いただくことが、最初の一步です。



社会福祉法人 三田谷治療教育院  
理事長 飯塚 由美子

